

令和5年7月12日

デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

株式会社マイトリー

1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、顧客満足度を向上させ、当社の競争力に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。

具体的には以下の3点より、競合優位性が高まります。

A) 労働生産性の向上

ICUではペットの酸素吸入を自動で実施することができ、これまで手作業で確認していた作業をゼロにすることが可能です。また最新DRの導入により診察時間も大幅に短縮されます。このように最新のデジタル技術を活用することで、院内の労働生産性を向上させます。

B) 見える化の推進

今回導入する心電計は、ペットの心臓や呼吸の状態を解析し、デジタル技術を用いてチャートやイラストで表示することで、本来目に見えない情報を飼い主様にもわかるように可視化するやことが可能になります。またDRで取得する画像は非常に高画質であり、またデジタル画像処理技術を用いて、格段に視認性を向上させます。このような見える化推進により、飼い主様に病状を理解をして頂いた上での治療を進めることで、インフォームドコンセントを徹底します。

C) 安全性の向上

医療現場において、安全性を向上させ医療ミスの可能性を極限まで低くすることは、レピュテーションリスクを低減するためにも非常に重要です。デジタル技術により術中の作業を自動化することで、人為ミスがなくなり、安全性が向上します。

2. 上記を踏まえた弊社の経営ビジョン

「デジタル技術を十分に活用して、高度な心臓病治療および労働生産性向上を実現する先鋭的な動物病院への進化」

当院は本事業を通じて心臓病疾患をコアコンピタンスとできるような体制構築を実現します。特にデジタル技術を用いた設備を導入し、検査水準や術後体制の高度化を実現します。加えて、自動化技術・デジタル技術の活用により労働生産性の飛躍的向上に努めます。以上のような先鋭的取り組みを実現し、より多くの飼い主様に選んでもらえ、かつ従業員の満足度も高い動物病院となることを当社の経営ビジョンとします。

3. 当社の経営ビジョンの実現のための戦略

- 心臓病疾患以外にも今後継続的にデジタル化の検討
- デジタルリテラシーを強化する教育
- 上記をより推進するための外部専門家との連携

4. 戦略推進のための組織体制

